

楽しもなかやま

2022年から楽しもなかやまを拠点として使用することとなり、拠点活用の1つとしてスタート。参観日などで学校が早く終わる日に、放課後に子ども達が集まる場所として楽しもなかやまを開放しています。ルールで縛らず、なるべく子どもたちのやってみたいようにやらせながら、宿題や遊びなどを見守っています。自然の中で遊んだり、地域の大人と出会いことで中山の良さが子どもたちに伝わることを願っています。

デマンドバス試乗会

地域交通に関する意見交換会を開き、まちづくりに求められるのはどういった交通支援なのかを考えた結果、デマンドバスを知ってもらうための試乗会をスタート。

試乗会することでデマンドバスについての理解が深まり巡回カフェ等で地域の方にも勧めたり使い方を提案できるようになりました。高齢になり運転免許を手放す事でお出かけが減らないように楽しもなかやま事業と連携するなどして推進していきたいです。

花壇美化作業

ふるさとフォーラムなかやま道路沿いの花壇が荒れていたことから、野草中心の自然なイメージの花壇にしたいと、2019年からスタート。2022年にはナチュラルガーデン講習会も行いました。毎月定例日に作業していただいているボランティアの皆様や、チーム「花壇ワーク・ポーチュラカ」さんのご協力により、ナチュラルな美しさで彩られています。山陰海岸の一部にしか自生していない貴重なトウテイランも植わっています。

巡回カフェ

健康対策課の初回モデル地区に選ばれたのがきっかけで始めた事業。行政と集落を繋ぐことができたり、巡回カフェがきっかけで集落の自主的なサロン開催につながったりと、お話を聞く中で必要な情報の発信もできたのでどの集落でも訪問を喜んでもらえました。



子ども事業

子ども達の集まりの場づくり、水でっぽうバトルやキャンプなど、各家庭では少しハードルが高い企画をまちづくりが受け皿になって、地域の子どもたちに様々な体験をしてもらうために2023年から実施。子どもたちの自主性を尊重し、自分たちで企画させてみる事業に取り組みました。事業によっては自主組織の手から離れて自立した集まりも行われるようになり、良いきっかけづくりになったと思います。

地域の大人たちの企画もありますが、今後、子を持つ親世代が中心になって企画されようになり、地域の未来の本質がかわることを期待しています。



リラクゼーション部

身近にいる町内の施設と場所を活用し、町民の癒しと交流の場作りをしたいと2023年に開始。それぞれの施設で来場の方の心身を癒しています。

施設前後のお気楽カフェとの相乗効果で楽しく交流もできて沢山の方に喜んでいただいています。



わくわく らくらく 楽しもう
生きがいを持ち、支え合い、楽しみながら 地域に貢献する



ホーメページ
Facebook
楽しもなかやま10th anniversary
楽しもなかやま事務局 090-2215-4071(田中)
楽しもなかやまセンター募集中!
楽しい町づくりのお手伝いを一緒にしてくれる
センターを随時募集しています

2025年 冬号 楽しもなかやま だより



Anniversary

楽しもなかやまだより 2025年冬号 編集:楽しもなかやま広報部 2025年12月発行

2015年 設立前イベント

楽しもなかやままつり
(約300人がなかやま温泉に集まる)



2016年 設立総会(楽しもなかやま始動!!)

集落連携事業
コミュニティ食堂tanocy開業
立川らくとのらくらくごスタート
海岸清掃スタート
第2回楽しもなかやままつり



2017年 サンデービールテントスタート

区長会意見交換会スタート
第3回楽しもなかやま祭り



2018年 友好館指定管理受託

なかやま温泉感謝祭&第4回楽しもなかやままつり
楽しもライブスタート
楽しもサロンスタート
ビオトープ事業スタート ホタル学習会



2019年 ホタル観察記録スタート

ビオトープ一斉作業
花壇美化作業



2020年 コミュニティ食堂tanocyリニューアルオープン



2021年 チャレンジ事業スタート

2022年 コミュニティ食堂tanocy閉業
デマンドバス試乗会スタート



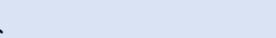
2023年 楽しもリラクゼーションスタート

楽し舍オープンデイスタート
楽しモルックスタート



巡回カフェスタート

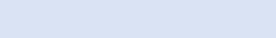
集落調査スタート
楽しもなかやま運動教室スタート
多肉植物寄せ植え教室スタート



職場体験受入れ

高2の集いスタート

下中山地区アンケート実施
子ども事業スタート



2024年 高校生進路トークスタート

チャレンジキッズ地域盛り上げプロジェクト12月～2月



設立10周年 を振り返る

主な事業の開始時期、きっかけと想い

らくらくご



2016年にスタートして10年目！落語好きが高じて、楽しもなかやまの皆さんの協力を得て、町民と楽しむ落語会の開催が実現しました。当初の「地域を笑いで元気に」というスローガンに加え、会の雰囲気づくりとして後に始めた落語マルシェで「地域の事業者を応援する」という新しいコンセプトが生まれた事により、地域に根ざすイベントに育てる思いをより強くしています。

楽しもビオトープ いきものがかり



ふるさとフォーラムの小川に蛍が飛ぶ光景を復活させたい思いから、南部町のホタルの里の視察をしたり、全国ホタルの会の米澤氏を講師として招きホタルの生態の勉強会をしました。5月末の初飛翔から約50日間毎日の観察は今年で7年となりました。近年は毎日の観察を中山中の生徒が担当してくれています。その観察は西部地区中学校の科学研究発表に活かされ表彰されました。今では身近にホタルを鑑賞

できる場所として認知されてきたことが嬉しいです。

蛍以外にも絶滅の恐れがある生き物の生息が確認されました。まさに“ビオトープ”となったこの水辺で、これからも子どもたちの遊ぶ姿を見ていきたいです。



2016～



サンデー ビールテント



ビアエッセイストをしていることもあり、大好きなビールで地域の方と交流をしたいという思いから鳥取県でも珍しいビール祭りを企画。当初はドイツのビール祭りをイメージし10ジョッキでの提供をしていましたが、適量飲酒の流れから、最近では半分の500mlにして極力地元のビール樽を用意し、そのビールの作り手を会場に招き、地域の方々に地のビールを通じて交流を楽しんでもらうことができます。



ビオトープ草刈り作業



これまでホタルの生育に合わせた草刈り作業ができなかっことから、2020年に委託管理を受託。3月と11月には楽しもメンバー以外の協力もいただき、一斉作業を実施しています。

以前はホタルファーストでやってきましたが現在はビオトープの全体の自然を守ることを重視して活動しています。



楽しも草刈りレンジャーが高齢化のため
若手募集します！



チャレンジ事業

2021年度にスタート。きっかけは楽しもなかやまのメンバー以外の人でも特技を活かして地域で何かしてもらいたいという想いからでした。チャレンジ事業として年度途中でも使ってもらえる予算を確保し、地域で何かしたい思いのある人に声掛けを行ってきました。これまでに行われたチャレンジは10事業あり、これをきっかけに楽しもなかやまの継続事業として定着した事業も多いです。まちづくり活動の輪を広げるために欠かせない事業になっています。



楽しもライブ



地元で気軽に音楽を楽しみ、人と音楽が繋がる機会を定期的に作りたいと、2018年秋にスタート♪

毎回3組が出演するライブはジャンルが偏らないように工夫。

地元出演者の発掘をするべく情報を集めながら、町民も活躍するライブとしてこれまでのべ57組に出演してもらいました！

これからもアットホームなライブを楽しんでいただけると嬉しいです。



楽しもサロン



昔、今、これからのふるさとについて、残っている物や伝えられてきたもの、見えはじめてきたものなどを手掛かりとして、訪ねたり、体験したりしながら『ふるさと下中山』をもっと知り、大切にし、守り、育て、活動していく仲間づくりをしたいとの考えから2019年にスタート。



元々は室内での活動をしていたが、屋外での活動の必要性を感じて『歩いてふるさと』をはじめたことで、ふるさとを深く知る活動ができるようになりました。



集落の自慢や見せたいものも募集中です。是非教えてください！